

2019年10月15日

横浜市長 林 文子様

質 問 状

(横浜市へのIR誘致にともなう問題について)

横浜市精神科医会	会長 山口 哲頭
一般社団法人神奈川県精神科病院協会	会長 竹内 知夫
一般社団法人神奈川県精神神経科診療所協会	会長 斎藤 庸男

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

常日頃より精神医療にご理解ご支援をいただきありがとうございます。

IRを構成する施設の一つであるカジノがギャンブル依存症患者を増やすという懸念を我々は持っております。これまで横浜市にIRが誘致されないよう、意見表明や関係機関への申し入れなどの取り組みを行なってきました。しかしながら、8月22日に林市長が横浜にIRを誘致する方向で準備をするという発表をされたことに大きな驚きと悲しみを受けました。

今回の誘致にあたって確認をさせていただきたいこと、疑問に思っていることがあります。横浜市精神医療を担う者の代表として、下記の件について林市長、横浜市政策局政策部政策課のお考えを伺いたく質問させていただく次第です。

- 1、我々は、カジノができることによるギャンブル依存症患者の増加を懸念しております。林市長はどのようにお考えになりますか？
- 2、現状のギャンブル依存症治療・対策は十分なものとお考えでしょうか？
- 3、国が呈示している依存症治療・予防対策に加えて、横浜市として独自の取り組みはございますか？
- 4、横浜成人市民300万人のうち、ギャンブル依存が疑われる者は0.8%、2.4万人とされています。市内精神科医療機関が2.4万人を支えられるとお考えでしょうか？また、治療に極めて難渋するギャンブル依存症を積極的に診る精神科医療機関が市内にどの程度存在するとお見積りでしょうか？
- 5、ギャンブル依存の結果、多重債務、失業、家庭不和等を原因として「うつ状態」となり「自殺に至る事例」を拝見します。この自殺者、自殺予備軍をこれ以上増やさない最善の方法は、新たなギャンブル施設を造らないことと思いたくはありますがいかがでしょうか？
- 6、我々は、ギャンブル施設の新設は自殺対策に逆行するものと考えております。市長のお考えはいかがでしょうか？
- 7、横浜市民の憩いの場である山下公園、子供がつどう氷川丸から地続きの山下ふ頭にカジノができる事に違和感があります。この場所に新設しなければならないのでしょうか。

お忙しいところ大変申し訳ありませんが、回答は文書にて2019年10月 日まで下記にお送りいただきたくお願いいたします。

一般社団法人 神奈川県精神神経科診療所協会
〒221-0835 神奈川県横浜市神奈川区鶴屋町 2-9-22-314
TEL: 045-312-8989 FAX: 045-323-0765
E-mail: shinseisin@ybb.ne.jp